

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
●单元未満株式の買取請求 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法のご指定	口座を開設されている証券会社
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

CRIE
クリエアナブキ

第31期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



東証JASDAQ上場
証券コード：4336

CRIE
クリエアナブキ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼を申し上げます。

お陰様で当社は、平成28年4月11日をもちまして設立30周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、第31期第2四半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、「中四国No.1」の総合人材サービス企業をめざして、中四国では人材派遣事業を中心に売上高・市場シェアの拡大を、大都市圏ではUIターン転職支援など付加価値の高い事業への傾注による安定収益の確保を図っております。リーマン・ショック後初めて増収営業増益を達成した前期においては、この方針に沿って、株式会社採用工房、株式会社ミウラチャレンディの2社を期中に子会社化したことが業績向上に大きく寄与いたしました。

同じ方針の下、当四半期は、当社旧東京支店に係る人材派遣事業の事業譲渡、首都圏でIT関連事業を営んできた子会社の売却の2施策を実行した上で、平成28年8月に「中国・四国UIターンセンター」を東京都渋谷区に新設いたしました。収益性に劣る事業を整理するだけにとどまらず、間髪を容れず首都圏在住の人材の中四国への流入に繋がるUIターン転職を支援する組織を立ち上げたことで、当社グループの首都圏における存在意義と中四国の

地方創生に向けた積極的な姿勢を明確化できたと自負しております。

先般の労働者派遣法改正を機に、派遣市場は活気を取り戻しつつあります。地方創生の機運の高まりは、その一翼を担わんとする当社グループにとって追い風となるに違いありません。中四国重視と収益性向上の視点に立った営業戦略の機動的かつ継続的な実行により、地域社会とともに、明るい未来に向かって発展を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

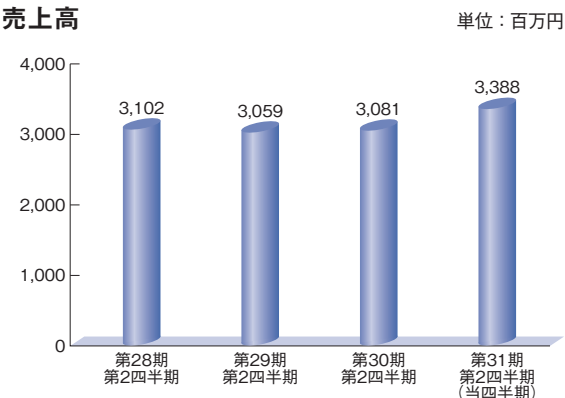
平成28年12月



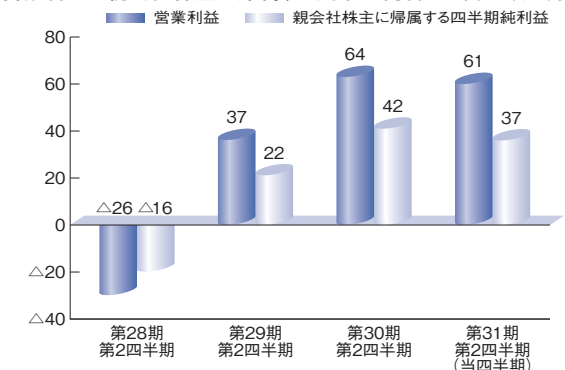
代表取締役社長 藏田 徹

経営指標の推移（連結）

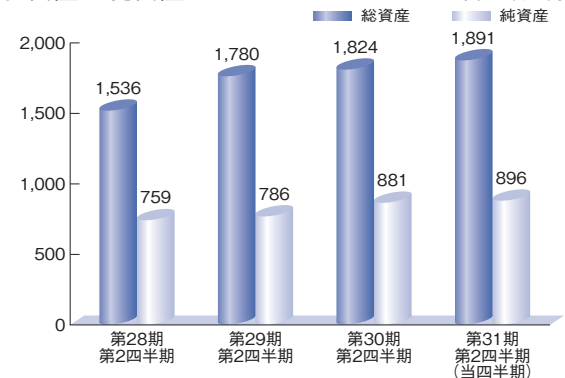
●売上高



●営業利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



●総資産・純資産



事業の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の減速を背景に、輸出が横ばいとなり、設備投資も足踏み状態となるなど、一部に弱さが見られたものの、個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を続けました。

人材サービス業界においては、完全失業率が低水準で推移するなど、雇用情勢は総じて改善傾向にあります。

このような経営環境の中にあって、当社グループは、「中四国No.1」の総合人材サービス企業への飛躍を掲げて、強みを有する四国での派遣営業に一段と注力するとともに、中四国重視と収益性向上の視点に立った営業戦略の徹底により、増収増益基調への早期回帰をめざしております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,388,603千円（前年同四半期比110.0%）、営業利益61,650千円（同96.0%）、経常利益62,981千円（同94.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益37,321千円（同88.7%）となりました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

人材派遣

当事業の売上高は1,962,648千円（前年同四半期比109.1%）となりました。

当社グループの主力である当事業については、地元企業への地道な営業活動に加え、平成27年10月に愛媛県の株式会社ミウラチャレンディを子会社化した効果もあって、四国での売上が堅調に推移し、前年同四半期の実績を上回りました。なお、中四国重視の方針に従って、当社は、平成28年7月に旧東京支店に係る人材派遣事業を株式会社トヨタエンタプライズに事業譲渡しております。

アウトソーシング

当事業の売上高は1,147,599千円（前年同四半期比106.3%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて主たる取引先からの受注が底堅く推移したことに加え、平成27年10月に株式会社ミウラチャレンディを子会社化した効果もあって、前年同四半期の実績を上回りました。

人材紹介

当事業の売上高は75,295千円（前年同四半期比97.2%）となりました。

収益性向上の鍵を握る当事業については、中四国各地において幅広い層を対象とした求人開拓と求職者確保に努める一方、先般の労働者派遣法改正の趣旨を踏まえ、直接雇用への途を開く紹介予定派遣にも積極的に取り組みましたが、前年同四半期の実績を僅かに下回りました。なお、中四国重視の方針に従って、首都圏在住の人材の中四国への流入に繋がるUIターン転職の支援体制を一段と強化するため、平成28年8月に「中国・四国UIターンセンター」を東京都渋谷区に新設しております。

採用支援

当事業の売上高は165,287千円（前年同四半期比342.8%）となりました。

平成27年7月に子会社化した東京都の株式会社採用工房を中核企業として営んでいる当事業については、企業の求人・採用に係る代行業務が好調に推移いたしました。

その他

上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で37,772千円となりました。なお、株式会社イルミネート・ジャパン（旧商号：株式会社クリエ・イルミネート）が首都圏で営んできたIT関連事業については、中四国重視の方針に従って、平成28年7月に同社株式を全部譲渡し、当該事業を廃止しております。

経理の状況

● 連結貸借対照表

科目	前期 (平成28年3月31日現在)	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,707,775	1,696,597
現金及び預金	901,994	961,345
売掛金	746,358	654,358
仕掛品	—	2,503
原材料及び貯蔵品	644	882
前払費用	19,285	24,005
未収還付法人税等	1,808	1
繰延税金資産	35,599	32,825
その他	3,349	21,763
貸倒引当金	△ 1,264	△ 1,087
固定資産	211,895	195,182
(有形固定資産)	(19,848)	(22,259)
建物	9,389	12,731
工具、器具及び備品	10,459	9,527
(無形固定資産)	(73,104)	(61,185)
のれん	54,535	38,912
ソフトウエア	14,043	17,747
電話加入権	4,525	4,525
(投資その他の資産)	(118,942)	(111,737)
投資有価証券	4,562	4,311
繰延税金資産	26,504	28,919
差入保証金	87,356	78,363
その他	519	142
資産合計	1,919,670	1,891,779

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単位：千円

科目	前期 (平成28年3月31日現在)	当第2四半期 (平成28年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債	928,235	879,946
短期借入金	14,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	158,236	138,496
未払金	69,920	70,150
未払費用	466,470	428,230
未払消費税等	105,828	106,840
未払法人税等	26,089	40,751
預り金	13,101	13,222
賞与引当金	72,453	71,301
その他	2,135	2,954
固定負債	122,981	115,370
長期借入金	40,839	25,841
繰延税金負債	137	69
退職給付に係る負債	82,004	89,460
負債合計	1,051,217	995,317
【純資産の部】		
株主資本	811,922	833,056
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	462,867	484,000
自己株式	△ 6,664	△ 6,664
その他の包括利益累計額	169	5
その他有価証券評価差額金	169	5
非支配株主持分	56,361	63,400
純資産合計	868,453	896,462
負債純資産合計	1,919,670	1,891,779

●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	3,081,900	3,388,603
売上原価	2,453,129	2,742,009
売上総利益	628,771	646,594
販売費及び一般管理費	564,524	584,943
営業利益	64,246	61,650
営業外収益	4,005	2,975
営業外費用	1,865	1,644
経常利益	66,386	62,981
特別利益	1,954	19,634
特別損失	—	104
税金等調整前四半期純利益	68,341	82,511
法人税、住民税及び事業税	26,220	35,853
法人税等調整額	△ 6,147	378
四半期純利益	48,268	46,280
非支配株主に帰属する 四半期純利益	6,207	8,959
親会社株主に帰属する 四半期純利益	42,060	37,321

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前第2四半期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 71,765	119,749
投資活動による キャッシュ・フロー	30,499	△ 31,610
財務活動による キャッシュ・フロー	5,726	△ 28,787
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	△ 35,539	59,350
現金及び現金同等物 の期首残高	940,185	902,994
現金及び現金同等物 の四半期末残高	904,645	962,345

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



<http://www.crie.co.jp/>

会社の状況

●会社概要（平成28年9月30日現在）

商号	株式会社クリアナブキ
本店	香川県高松市磨屋町2番地8
設立年月日	昭和61年(1986年)4月11日
資本金	2億4,340万円
従業員数	96名(男性38名、女性58名)
主要な事業内容	人材派遣、アウトソーシング、人材紹介、再就職支援、組織人事コンサルティング、研修・測定サービス
連結子会社	株式会社クリエ・ロジプラス 株式会社採用工房 株式会社ミウラチャレンジ

●株式の状況（平成28年9月30日現在）

発行可能株式総数	9,000,000株
発行済株式の総数	2,340,000株(自己株式27,440株を含む。)
株主数	640名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリアナブキ従業員持株会	82,800株	3.6%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
島津実義	61,900株	2.7%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
山下博	21,000株	0.9%
森本秀代	16,900株	0.7%

(注) 持株比率は、自己株式(27,440株)を控除して計算しております。

●役員（平成28年10月1日現在）

取締役会長	穴吹忠嗣
代表取締役社長	藏田徹
常務取締役	上口裕司
取締役	大谷佳久
常勤監査役	福田清之
監査役	柳瀬治夫
監査役	桑島美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

●主要な事業所（平成28年9月30日現在）

